

中筋地区支え合いづくり

ニュース 3号

令和5年9月

中筋地区支え合いづくり協議会

会長 岡田 章

事務局：高砂市社会福祉協議会地域福祉課

生活支援コーディネーター 岩崎

電話 079-443-3725

2月7日 中筋地区 地域づくり研修会が 開催されました！

「中筋地区支え合いづくり協議会」の取り組みとして令和5年2月7日（火）、中筋地区「地域づくり研修会（26名参加）」を中筋公民館で開催しました。



活動報告（老人クラブ・小地域福祉部会）

◎「シニア春日野老人クラブ」からは、6年間の取り組みのなかで得られたことと、今後の課題について報告いただきました。

シニア春日野では、「高齢者の元気は地域の元気」をモットーに活動をとおして地域で知り合いが増え、共に笑い・汗をながし・学習し、時間をともにするなかで、相手を思い合ったり、感謝したりと、支え支えられての絆が生まれてきたこと。

今後この絆を大切に、無理をせず少しずつ発展させていきたいとの思いと、現在の活動を紹介していただきました。また、2つの課題として、若いシニアの加入など会員数の減少と全員が集える「憩いの家」など通いの場所の確保をあげられていました。

地域づくり研修会 次第

- 1.開会
- 2.活動報告
 - ・シニア春日野 老人クラブ
会長 莊所 俊二
 - ・中筋一丁目小地域福祉部会
会長 岡田 章
- 3.講演
 - ・「地域づくりについて」
生活支援コーディネーター
岩崎 靖博



ボランティア後の憩いのひととき・情報交換



◎「中筋1丁目小地域福祉部会」からは、「ふれあいいきいきサロン」での取り組みを紹介していただきました。

小地域福祉部会では、自治会館でのゲーム大会、七夕飾りなど季節を感じる催し、DVD鑑賞、ふれあい喫茶、会館の前の公園でのミニグラウンドゴルフ大会、地域の病院での健康教室や少し足を伸ばして姫路でのふれあい食事会など、気楽に集え、無理なく楽しく通い続けられる交流の場を開催していただいています。この地域交流の場に集うことで、福祉委員や高齢者すべての皆さんが、楽しみや生きがいを見だし、仲間や自宅以外の居場所をつくることにより、介護予防や認知症予防にもなり、生活にメリハリが生まれていくものとおもわれます。

「地域づくり」について

◎講演では、「協議会とは」や「地域づくりを森に例えると」、「地域の茶の間・お助け隊」といった先進地事例の紹介をさせていただきました。

協議会の参加団体

- 校区福祉推進委員会
- 校区連合自治会
- 地区民生委員・児童委員会
- 校区老人クラブ連合会

まず、支え合いづくり協議会は、「地域がこうなったらいいよね」という思いを話し合い、その実現に向けての取り組みをみんなで考える場です。

② 中筋地区支え合いづくり協議会
「こうなったらいいよね」という思いを話し合い、その実現に向けての取り組みをみんなで考える場



地域の困りごとを知る
地域にある資源を調べる
必要な資源を生み出す

友人・隣人などのお互いの支え合いをつくる

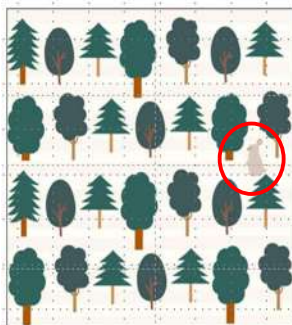


③ どちらの森(地域)に住みたいですか?



また、「地域づくり」を森にたとえ針葉樹など木(医療・介護サービス)だけでなく、たくさんのお花(地域の活動)が咲く豊かな森(地域)は、多くの動物(人びと)が自分にあった果実(喜び)を得ることができます。

(参照：明治学院大学 榊原准教授)



サービス(医療・介護)という針葉樹・広葉樹が、
整然とならぶ森(地域)



木(サービス)だけでなく
たくさんのお花(地域の活動)が咲く豊かな森(地域)
↓
多くの動物(人びと)が
自分にあった果実(喜び)を得ることができる

先進地事例の紹介：「地域の茶の間」と「お助け隊」など、茶の間を楽しくするルールや事務ボランティアの募集など。

⑦ 地域の茶の間 ⇒ 交流の場・つながりが生まれる場



- ① 誰もが気軽に集える場所、歩いて行ける範囲(自治会館・空き家・店舗など)
- ② プログラムを用意する必要はない。企画しても良い。(茶話会・軽い体操・創作活動・季節行事・健康相談など)
- ③ 開催時間中はいつでも立ち寄れて、いつでも帰ることができる。(自分の時間に合わせて参加できる場所)

地域の支え合い・助け合い活動のための事務手続き支援(事務お助け隊) 回覧チラシ・ホームページ等で募集する方法も

